※令和４年度以降入学生用

学校番号	112

令和５年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「美術２」　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎技術を身につけた上で自分自身の思いや感じ取ったことから表現する発展的な「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などに着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。また、「鑑賞」で感じ取ったことや考えたことを共有し、見方や表現をさらに広げ、深めていきましょう。

２　学習の到達目標

（１）対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
（２）造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
（３）主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	オリエンテーション	・習熟度の確認を行う ・1年間の学習のイメージをもつ ・用具の点検を行う ・立方体の様々な描き方を知る	a:遠近法を活用した立方体の描き方を理解し、描画道具を効果的に活用して正確に描くことができる。 c:美術の多様な表現に関心をもち、学習に臨むことができている。	ワークシート		活動の様子
	想定デッサン	・一点透視図法、二点透視図法、三点透視図法の違いと応用の仕方を知る ・立方体が存在する空間を想定し、遠近法(透視図法)を活用してデッサンする	a:遠近法を理解し、２点透視図法を活用して正確に立方体を描くことができる。さらに明暗の働きを考え、創造的に表現している。 b:立方体を分割し再構成するなど、個性豊かな表現の構想を練っている。 c:参考作品の鑑賞やワークシートを通して表現技法の理解を深め、主体的に取り組むことができている。	完成作品	アイデアスケッチ 完成作品	ワークシート 学習の記録 振り返り
	ロゴタイプ	・企業、雑誌、ブランド等のロゴタイプを模写してデザインの特性や工夫を学ぶ ・模写したロゴタイプを模倣し、自身の名前のロゴタイプを制作する	a:ロゴタイプの造形要素の働きを考え、特徴を捉えて表現することができている。 アクリルガッシュ絵の具の特性を活かした表現を行い、美しく仕上げることができる。 b:選んだロゴタイプの特徴を捉えて別の文字列に応用するときに、造形要素の働きを考えながら構想を練ることができる。 c:身近にあるロゴタイプに着目し、デザインの意図や工夫、造形的なよさを感じ取り理解を深めている。 主体的に創造活動に取り組むことができている。	ワークシート 完成作品	アイデアスケッチ 完成作品	学習の記録 振り返り

※令和４年度以降入学生用

2	パッケージデザイン	・流通している食品のパッケージからデザインの特徴や工夫を学ぶ ・お菓子のパッケージをデザインする ・箱の展開図を理解し独自のアイデアで構想を練り制作する	a:形体、色、構成などの造形要素の働きを理解し、個性的で創造的なパッケージのデザインができている。 複数の描画材料を使い、条件に応じた表現ができている。 b:人と社会を繋ぐデザインの働きについて考え、目的や条件に応じて形体、色、構成を工夫し構想を練ることができる。 アクリルガッシュ絵の具など複数の描画材料を効果的に使い分けることができる。 c:主体的に資料を集めて独自のアイデアに活用し、よりよい作品にしようと検討を重ね、目的や条件に沿うデザインを作り上げようとしている。	完成作品	アイデアスケッチ 完成作品	ワークシート 学習の記録 振り返り
	油彩模写	・作者と作品について学ぶ（作品鑑賞） ・有名作品の中から一つ選び、一部分を模写しながら技法、配色、筆致を学ぶ	a:作者名や作品名を知る。 造形的な特徴を理解し、適切な混色や筆遣いなどにより模写することができる。 b:見本から表現方法を想像し、実験をするなどして最適な描画方法を選択することができる。 c:作品の鑑賞や模写の活動を積極的に行い、自己の知識や技能として習得しようとしている。	小テスト 完成作品	完成作品	ワークシート 学習の記録

※令和４年度以降入学生用

	油彩作品制作	・シュルレアリスムの作品を鑑賞して概念について学ぶ(抽象絵画との違いを理解する) ・油絵の具の特徴を生かしたマチエールを学ぶ ・シュルレアリスムを主題とし、各自で題材を設定して作品を制作する ・相互鑑賞	a:シュルレアリスムの概念を理解している。 全体のイメージや自身の作風を意識し、個性豊かで創造的に表現することができる。 b:自然や自己、社会などを見つめ、身近な題材や空想から個性的で創造的な表現の構想を練っている。 c:主体的に資料を集め、実験を重ねながら独自の表現を追求し、制作している。 相互鑑賞し、表現の工夫について考え、よさや美しさなどを感じ取ろうとしている。	アイデアスケッチ 完成作品	ワークシート 完成作品	学習の記録 振り返り
3	掘り進み版画	・彫り進み版画の特性と制作手順を理解する ・自己の内面や取り巻く環境などから主題を生成し、構想を練り、彫り進み版画の技法で表現する	a:主題から発想し、形態、色、バランスを考え構成することができる。 掘り進み版画の特性や手順を理解し、道具を適切に使用して作品をつくることができる。 b:主題から発想して形態や色の工夫を行い、構想を練ることができる。道具を適切に使用し、意図する表現ができている。 c:自己の内面を見つめて表現することに関心をもち、主体的に表現しようとしている。	アイデアスケッチ 完成作品	ワークシート 完成作品	学習の記録
	1年間の振り返り	・作品返却 ・作品展示 ・作品鑑賞(相互鑑賞)	c:一年間の作品制作を振り返る。 客観的に自己の作品を鑑賞し、良いと思うものを見やすく展示する。 互いの作品の表現の工夫や発想、独自性などについて考え文章に表しながら見方や感じ方を深めている。			活動の様子 学習の記録

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度